

**クルーズ客船を対象とした広島港からの二次交通（公共交通機関）の利用  
案内用動画制作業務公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年1月23日
2	場 所	広島県庁北館港湾振興課
3	出席委員 (持ち回り)	広島港客船誘致・おもてなし委員会委員長 公益財団法人ひろしま国際センター代表 広島港客船誘致・おもてなし委員会委員 広島港客船誘致・おもてなし委員会委員 広島港客船誘致・おもてなし委員会委員
4	議 題	提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	広島港客船誘致・おもてなし委員会
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	<p>提出された提案書をもとに持ち回りによる審査を行い、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p><b>1 提案者（最優秀提案者：◎）</b>  A社：株式会社たびまちゲート広島  B社：アイランド・ピクチャーズ合同会社  C社：株式会社中国新聞アド  D社：東武トップツアーズ株式会社 広島支店  E社：株式会社JTB 広島支店（◎）  F社：セーラー広告株式会社 広島支社  G社：株式会社NHKエンタープライズ 中国支社</p> <p><b>2 各委員の主な評価・選定理由</b>  <b>【A社】</b>  ・動画・ペーパーともに、全般的なわかりやすさに加え、ナビゲーターを忍者とするなど外国人観光客に楽しんでもらえるコンセプトになっている点が特に良い。  ・宮島への動線のみでなく、地域の魅力や日本らしい体験も含めた「見たくなる動画」としてコンテンツ構成する点は評価できる。一方で、多くの寄港地をめぐるクルーズ客に対し、忍者を案内人として全面に出すことによって広島印象が一般化してしまうことや、キャラクター（忍者）に興味のない視聴者に訴求しない懸念がある。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナビゲーターに忍者を採用している点は、外国人観光客からの認知度も高く、ユニークで非常に好印象。一方で、目的地まで確実に案内するという本来の目的を最優先に考えた場合、キャラクターの印象が強く、肝心の案内情報が伝わりにくいと感じた。また、折り紙のシーンなどは含めず、シンプルに案内のみに絞った構成の方が、より分かりやすくなるのではないかな。</li> <li>・ペーパーについては、詳細まで丁寧に解説されており非常に分かりやすい内容になっている。一方でその他の情報も多く、各情報のテキストを縮小せざるを得ず見にくくなってしまっている。</li> </ul> <p><b>【B社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナビゲーターに現地在住の外国人を起用した点は、外国人観光客に安心感を与える非常に良い要素と感じた。また、発注者の用途に合わせて3パターンのマスター映像作成の提案も細やかな配慮が伺える。動画では宮島の潮見表の案内やクレジットカードでの購入シーンなど、具体的に説明されており、初めて日本を訪れる外国人にも分かりやすくまとめられており良い。一方で、今どの地点を移動しているのか、全体像が少々分かりにくい。</li> <li>・ペーパーについて、日本に不慣れな外国人視点と、全ての乗客が英語ユーザーではないという前提のもと、シンプルで直感的に理解できるマップデザインとし、宮島観光に期待すること（海に浮かぶ鳥居）や帰路への配慮なども入れ、観光に対する移動の不安を軽減することをコンセプトにしていることは非常に評価できる。一方で、内容は交通モードと所要時間の情報のみとなっており、これを見て外国人観光客が自力で移動できるかどうか不安がある。</li> <li>・ペーパーに（高速船の）チケット購入方法についての説明がないので、掲載（QRコード）は必要と感じた。</li> </ul> <p><b>【C社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に情報が網羅されており、間違いやすいポイントではターゲットマーカール等を使用し視聴者への配慮が感じられる。一方で、宮島への動線に対する不安を減らすことに終始しており、全体の地図情報など寄港地と宮島の位置関係の説明がないため、自分がどこに向かっているのかわからないという、旅をする上での根本的な不安が残ってしまうのではないかと危惧する。</li> <li>・ペーパーは、広島港の平面図、シャトルバス、高速船の写真が掲載され要点がコンパクトにまとめられており、とても理解しやすいものとなっている。</li> </ul> <p><b>【D社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画・ペーパーともに、必要な情報を並べてはあるが、分かりやすさや目を引く工夫などに欠ける印象。</li> <li>・POVの手持ちカメラによる映像は視聴者側が不慣れな場合もあり、現地の予備知識のない外国人観光客には客観的な情報が伝わりにくいのではないかな。</li> <li>・ペーパーについて、補完情報は充実しているが、行程の全体概要が把握しづら</li> </ul>
--	---

	<p>く、主要な情報の写真が小さく分かりづらい。全体に動画の保管資料的な役割に止まっている。</p> <p>【E社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画は、全体行程をアニメーション地図で示した後にクルーズ船から始まる構成となっており、とても入りやすく理解しやすい。シンプルなデザインで、国籍や言語を問わず理解できる構成となっており、特に宇品旅客ターミナルでは動線理解のため位置マップが画面に表示される点を高く評価した。</li> <li>・ペーパーは全体行程や広島港の平面図、移動写真など必要な情報がシンプルにまとめて掲載され、分かりやすい構成となっている。見やすさを追求して、テキスト情報量を少なくする配慮も見受けられる。</li> <li>・実施体制は、今回制作する5本の動画それぞれに、各交通事業者・施設管理者毎の事前調整担当者を置き、体制を整えている点を評価した。</li> </ul> <p>【F社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船乗客のガイド経験者へのリサーチなどから、視聴者にとって何が最も不安であるのかを分析し、問題を解決するためのストーリーを構成している点に提案への意欲を感じる。動画内の『港の名前』の把握及びペーパーのタクシー運転手呈示用『指さしカード』は、観光客の安心に繋がる非常に良いアイデアで評価できる。</li> <li>・動画はイラストと実写を組み合わせ、視聴者の理解を深める構成となっている。動画冒頭でチェックリストを表示し、必要な項目の確認を促すことで、視聴者に安心感を与えている。タイトルに『UJINA』と入れることで他ルートとの区別ができている点も分かりやすい。</li> <li>・ペーパーは、全体行程や広島港の平面図、移動写真などが多数掲載されており分かりやすい。レイアウトやデザイン、ピクトグラムを工夫して見やすさにとっても配慮があるが、比較的年配の方の割合が多いクルーズ乗船客にとっては、文字や情報が細かく、見にくく感じられる可能性がある。</li> </ul> <p>【G社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画について、コースに従ってPOVで説明されているものの、各パートの詳細については概要説明にとどまっており具体性に欠ける。</li> <li>・ペーパーはイメージしか提案されていない段階ではあるが、フェリー乗り場の案内の掲載がないなど簡潔すぎる。</li> <li>・動画・ペーパーともに必要な情報を並べてはあるが、分かりやすさや目を引く工夫などに欠ける印象。外国人観光客が、クルーズ船を降りてから宮島への移動の中で、特に不安に感じるポイントについての考察があると更により提案になったと感じる。</li> </ul>
--	--